

平成 27 年北秋田市議会 3 月定例会行政報告

北秋田市議会 3 月定例会が開催されるにあたり、12 月 4 日以降の主な事項及び今後予定している事項について報告いたします。

市長部局

総務部

<総務課関係>

平成 26 年度職員採用試験の第 2 次募集を行い、大学卒一般行政については、1 月 25 日に小論文・面接試験を実施し、24 名が臨みました。結果として、大学卒一般行政の合格者 2 名を 2 月 5 日付けで告示しております。消防吏員については、1 月 24 日に作文・面接試験・体力テストを実施し、10 名が臨みました。結果として、消防吏員の合格者 1 名を 2 月 5 日付けで告示しております。

危機管理体制については、今冬は例年より降雪の時期が早く積雪深が基準値を超えたことから、12 月 26 日午前 9 時「北秋田市災害警戒部（雪害）」を設置し、2 月 2 日午後 3 時「北秋田市災害対策本部（雪害）」に移行いたしました。幹線道路と通学路の確保、農林業施設の除雪周知、要援護者世帯と家屋の巡回を行い、警戒体制をとっております。

防災対策については、2 月 10 日に第 2 回北秋田市防災会議を開催し、災害対策基本法の改正や秋田県地域防災計画との整合性をはかるため「北秋田市地域防災計画」の改訂を行いました。

<総合政策課関係>

市行政評価委員会が今年度実施した 3 事務事業の評価について、12 月 18 日に評価結果の報告を受けました。委員会からの評価・意見は、今後の行政運営に活用してまいります。

1 月 9 日、「地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る国の方針が示されたことから、「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」の活用により、地域経済の活性化と北秋田市版総合戦略の策定の準備を進めてまいります。

中国蘭州市の茆式教育研究普及センターの教育研修団が、2月4日から6日まで本市を訪問し、市内小中学校と高校で教育活動の体験や、ホームステイ、森吉山の樹氷鑑賞などを通じた交流が行われました。

秋田県との協働による北秋田市お試し移住体験事業を2月7日から9日までと、2月20日から22日まで実施し、あわせて3名の方に郷土料理作りや雪かき、地元の方々との交流などを通じた北秋田の暮らしを体験していただきました。

〈内陸線再生支援室〉

地域の魅力ある食を秋田内陸線の利用者へ無料提供する「地域から秋田内陸線魅力アップ事業」を、内陸線沿線の5団体から支援を受け、1月10日から12日、24日・25日の5日間におたり実施し、利用客から大変好評を得ました。例年、観光客等の乗客数が減少するこの時期に「サンタ列車」や「雪だるま列車」「おひな様列車」などの企画列車の運行や、「スノーキャンドルストリート in あに」などのイベント列車の運行支援を実施し、利用客の増加に努めました。

財 務 部

〈財政課関係〉

平成26年11月15日から平成27年2月6日までの工事等発注状況（500万円以上）は、次のとおりとなっております。

工事等発注一覧表 ※ 500万円以上(消費税含む)			
平成26年11月15日～平成27年2月6日			
工事名または業務名等	契約年月日	契約額 (千円)	請負業者名
戸籍新システム構築事業委託(機器更新)	H26.12.11	18,360	富士ゼロックスシステムサービス(株)営業本部公共システム営業事業部東北支店
市民生活部 1件	/	18,360	
介護保険制度改正対応システム改修委託	H27.1.23	6,177	(株)アイシーエス秋田支店
健康福祉部 1件	/	6,177	
農業災害復旧工事(下モ岱地内)	H26.12.5	12,279	(株)大川建設

市有林間伐事業(その1)	H26.12.10	7,020	(有)新林林業
市有林間伐事業(その2)	H26.12.10	7,020	(有)新林林業
農業災害復旧工事(下モ大袋地区)	H26.12.18	6,393	(有)中嶋施設工業
農業災害復旧工事(下綱地区)	H26.12.19	9,612	(有)長岐建設
農業災害復旧工事(妹尾館田ノ沢(1)ほか1地区)	H26.12.22	14,040	かつら造園建設(株)
農業災害復旧工事(逸子沢(1)地区)	H26.12.22	5,054	(有)千葉建設
農業災害復旧工事(長坂下岱(1)ほか2地区)	H27.1.15	5,616	(有)中嶋施設工業
産業部 8件		67,034	
道路維持工事(2級市道 大向～蟹沢線)	H26.11.20	27,000	(有)丸栄建設
河川維持工事(準用河川 雪田沢川)	H26.12.5	6,609	(有)喜組
マンホールポンプ設置工事(鷹巣処理区 MP274)	H26.12.22	19,980	大館桂工業(株)北秋田営業所
面整備工事(鷹巣処理区その8)	H27.1.16	8,024	(有)松尾土木
建設部 4件		61,613	
教室管理備品(合川小学校)	H26.12.4	13,176	(株)成文社
職員室・保健室等管理備品(合川小学校)	H26.12.4	11,642	(株)秋北文具
体育館・書庫等管理備品(合川小学校)	H26.12.4	8,424	(株)岡太屋鷹巣営業所
学校給食用什器及び調理器具等	H26.12.18	15,984	山二環境機材(株)大館営業所
陸上競技場備品	H27.1.15	5,961	(有)タナカスポーツ
教育委員会 5件		55,187	
合計 19 件		208,371	

市民生活部

〈生活課関係〉

クリーンリサイクルセンターの平成 26 年 4 月から平成 26 年 12 月までのごみ搬入実績は約 9,405 トンです。その内、北秋田市分は 94%で約 8,844 トンとなっており、前年度に比較して約 371 トンの減少となっております。

消費生活に関することについては、12 月 10 日に安全 3 法に基づく立入検査を実施しました。これは、日常使用する家庭製品による事故を防止し、消費者の安全を守るため、店舗で販売されている商品に法律で定められた表示項目があるかなどを確認するものです。市内の 5 店舗にご協力いただき、石油ストーブなど 14 品目を検査した結果、検査対象商品については全て適正に販売されておりました。

1 月 10 日、上小阿仁村生涯学習センターにおいて北秋田地区交通・防犯指導隊連合会安全祈願式及び査閲式を開催しました。祈願式では平成 27 年中の各種活動の安全を祈願し、査閲式では服装及び規律の確認を行うとともに、警察署等関係団体と連携した活動を行い、市民の交通安全の確保や安全・安心なまちづくりに努めていくことを確認しました。

健康福祉部

〈福祉課関係〉

消費税増税に伴う負担軽減のための一時金「臨時福祉給付金」については、1 月末現在で 9,110 人に対し 123,810 千円を支給しました。

障害者総合支援法による自立支援給付事業は、12 月末現在で介護給付 208 人、訓練給付 127 人、自立支援医療 497 人となっており、地域生活支援事業では、日常生活用具 91 人、意思疎通支援 2 人、日中一時支援 26 人、児童福祉法による障害児通所支援は 31 人の利用となっております。

障がい者相談支援の拠点である障害者生活支援センターの 12 月末現在の延べ利用者は、来所 3,972 人、訪問 1,900 人、電話相談 1,436 件であり、なかでも精神障がい者の利用が増えております。

「第 4 期障がい福祉計画」の第 4 回策定委員会を 2 月 18 日に開催いたしました。年度内に最終案を取りまとめる予定です。

平成 27 年度の保育所等の入所申し込みは、845 人（公立保育所 355 人、私立保育所 355 人、私立認定こども園 135 人）で、1 月下旬に入園審査会を開き、入所を決定しました。平成 26 年度

当初の入所児童数と比較して、0歳が5人増、1歳が21人増、全体では20人の増となっています。

北秋田市子ども・子育て会議については、第3回目の会議を1月15日に開催いたしました。年度内に「北秋田市子ども・子育て支援事業計画」を策定する予定です。

児童手当の2月支給分は、1,686人に120,400千円を支給しました。また、児童扶養手当の12月支給は、269人に37,720千円を支給しております。子育て世帯臨時特例給付金は、1月末現在で1,714件に対し28,130千円を支給しました。

<高齢福祉課関係>

福祉の雪事業については、2月10日現在、申請件数は1,115件となっております。うち該当世帯は1,004世帯、非該当世帯は111世帯です。該当世帯の内訳といたしましては、一人暮らしの高齢者世帯は752世帯、高齢者のみの世帯は201世帯、その他の世帯は51世帯となっております。

12月が記録的な大雪だったこともあり、12月から1月上旬までの作業実績については、実利用世帯は476世帯、延利用回数は4,006件となっております。作業額は8,096,537円、扶助費は6,162,307円となっており、40,000円の支給限度額を超えた世帯は22世帯です。

地域包括支援センターの包括的支援事業における総合相談に関しては、12月末現在延べ629件（来所142件・電話238件・訪問249件）の相談がありました。その内、権利擁護に関する相談は延べ92件となっております。高齢者虐待の通報や疑い等については、12件（実件数）の事案に対応しております。虐待の発生要因としては、介護の負担や経済的要因、人間関係や家族関係等があり、特に介護の長期化が及ぼす介護者への負担は計り知れないものがあります。虐待を未然に防ぐ為にも「高齢者虐待」の早期発見・対応と養護する家族への支援、地域ぐるみの見守りの大切さを呼びかけてまいります。

<医療健康課関係>

成人保健事業については、1月末現在での特定保健指導実施者は、動機づけ支援対象者205人中128人、積極的支援対象者58人中26人となっております。

生活習慣病予防事業については、糖尿病予防を主なテーマとして「すこやか健康講座」を4回実施しております。また、本講座において、「7520 良い歯」の認定と健康標語及び応募者の紹介を行いました。

食育推進事業については、12月から3月にかけて4地区15会場を地区巡回健康相談と併せて実施しております。2月13日には食育推進事業を実施している関係部所合同の食育推進委員会を開催しております。

心の健康づくり事業については、75歳以上の方655人を対象に、12月から3月にかけて23自治会を「ホッとあい訪問」として保健師が訪問しております。

予防接種事業については、1月末現在のインフルエンザ予防接種は、高齢者が6,854人、子ども及び妊婦が3,707人で、高齢者の肺炎球菌予防接種については1,012人が接種を受けております。

献血実施状況については、1月末現在で876人の方から協力をいただいております。

阿仁診療所整備検討委員会については、第4回目が12月18日に開催され、診療所の規模・機能について意見をまとめ、12月22日に委員長、副委員長より市長へ協議した結果が報告されました。

北秋田市医療連携センター運営協議会については、第3回目が1月26日に開催され、今までの事業経過報告等について報告されました。今後の計画としては、地域の医療・介護・福祉資源等の機能充実や支援体制を包括的・継続的に提供できるよう、医療・介護資源ガイドブックを作成し、各医療機関や介護・福祉施設等へ配布する予定となっております。

<診療所関係>

11月から1月までの市立3診療所の外来患者数については、次のとおりです。阿仁診療所では、内科2,172人で前年同期対比202人(8.5%)の減、外科2,601人で前年同期対比10人(0.4%)の減、歯科835人で前年同期対比6人(0.7%)の減となっております。次に、合川診療所では2,971人で、前年同期対比46人(1.6%)の増となっております。次に、米内沢診療所では、内科4,230人で前年同期対比211人(4.8%)の減、小児科711人で前年同期対比98人(16.0%)の増、整形外科996人で前年同期対比1人(0.1%)の増、脳血管外科242人で前年同期対比19人(7.3%)の減、心臓血管外科92人で前年同期対比30人(48.4%)の増となっております。

今後も、地域住民の医療と健康を守るため安定した診療所運営を心がけてまいります。

産 業 部

<農林課関係>

平成27年産米の生産数量目標については、昨年末に国から県に417,540トン、県から当市に16,790トンが提示され、面積換算値では3,126.63haであります。平成26年産米の配分より350トン(△2.0%)の減、面積換算値では77.11ha減となりました。

これに基づき、1月27日に北秋田市農業再生協議会を開催して、JA鷹巣町に9,160トン、JAあきた北央に7,512トン、市内主食集荷商業者に119トンの生産数量目標の配分方針を示したところです。

なお、平成30年以降は行政による生産数量目標の配分に頼らず、生産者・出荷業者自ら生産量の判断ができるよう平成27年産米より「都道府県段階における自主的取組参考値」が設定され、秋田県では「市町村における自主的取組参考値」を設定しました。当市の自主的取組参考値は16,521トンで生産数量目標よりさらに269トン少ない値となっております。

今年度から開始になりました農地中間管理事業については、1月末現在、借受希望（受け手）205件、1,530haに対し、貸付希望（出し手）42件、40haと少なく今後は出し手の掘り起しに努めてまいります。

公有林整備事業については、市有林の育成整備を図るため、木戸石字芦沢地内ほか1件の間伐業務（27.98ha）を発注しております。

松くい虫防除対策事業については、被害の拡大を防止するため、鷹巣、合川、森吉地区において伐倒駆除業務（56本）を発注しております。

林道施設災害復旧事業については、阿仁線1号箇所ほか2件の工事を3月発注に向けて準備を進めております。

林業専用道整備事業（県営事業）については、阿仁地区の菅生線、小倉沢線、鍵ノ滝線、鷹巣地区の湯繰舟沢線、合川地区の羽根山線の5路線が完成し、融雪後の供用開始により、森林経営計画に基づく間伐等の森林施業の生産性の向上が期待されます。

<商工観光課関係>

中心市街地活性化対策については、鷹巣地区中心商店街の活性化を図ろうと、12月14日から2月7日まで「第7回北秋田きらきらフェスティバル」が開催され、米代児童公園のSLのライトアップや樹木の電飾、ライブコンサート、クリスマス仮装パレードのほか、新たな取り組みとして独身男女の交流会を行い商店街に活気を呼び込みました。

企業誘致対策については、1月14日、東京都において秋田県企業誘致推進協議会主催による「秋田県・県内市町村と首都圏企業との懇談会」が開催され、北秋田市の誘致企業をはじめ秋田県内関連企業との交流を図りました。2月18日には北秋田市企業立地協力推進委員懇談会を開催し、企業立地により産業の振興と雇用の拡大を図るため、情報収集に携わる企業立地協力推進員の方々に『秋田県と北秋田市の企業誘致の取り組み状況』を報告した後、意見交換会が行われました。

観光振興については、本年度の「あきたふるさと手作りCM大賞」において、最優秀賞を受賞し、県内はもちろん東北5県に当市のCMを通し観光情報が発信されております。

12月15日台湾から教育旅行視察団が当市を訪問、森吉山阿仁スキー場の視察と秋田内陸縦貫鉄道の旅を楽しんでいただき、教育旅行の訪問先として好評価を得ております。また、1月26日には、冬季の誘客活動として、台湾スキー協会一行が森吉山阿仁スキー場でゲレンデ滑走を体験しております。今回の台湾スキー協会の視察も教育旅行視察団同様、夏に実施しましたトップセールスの成果・効果が徐々に現れており、今後の台湾と北秋田市の交流が発展していくものと期待しているところです。

観光イベントについては、1月2日に新春恒例の「綴子大太鼓たたき初め」が大太鼓の館で開催されました。関係者による今年1年の安全と地域の発展を祈祷した後、多くの市民や帰省中の見物客が見守る中、上町・下町両保存会による太鼓の演奏が行われ、多いに賑わいを創出しました。

森吉山の樹氷鑑賞については、1月10日から3月8日までの日程で始まりしました。今年は天候にも恵まれ、昨年を上回るペースで来場者も増加しており、多くの来場者が、アイスモンスターの群れを体感しております。また、ピステンツアーとしての夜の樹氷鑑賞も開催しており、大自然の魅力を多いに満喫しております。

1月18日から2月22日まで合計6回、冬期間の阿仁熊牧場「くまくま園」の誘客活動として、ひぐまの冬眠観察として、バックヤードツアーを開催しております。

県内初となる第1回秋田県どぶろく研究交流大会が、1月30日・31日の2日間にわたり、打当温泉マタギの湯で開催されました。交流会は県内6製造者を含め約70名の参加のもと、地域活性化につながる情報提供や意見交換などを行いました。また、第9回全国大会において入賞されたどぶろくの提供をいただき、多いに賑わいを魅せ盛会に終わりました。コンテストではマタギの里観光開発株式会社の「マタギの夢」が審査員特別賞を受賞されました。

第21回もちっこ市が2月14日・15日に大太鼓の館駐車場において開催されました。会場では、北あきたバター餅を始め、手作り餅やお焼き、また、地元特産品等が特設テントで販売されたほか、餅巻きや餅つき、おしるこの無料サービスが行われ、来場された大勢の人達で賑わいました。

建設部

〈都市計画課関係〉

住宅リフォーム緊急支援事業については、1月末で補助金交付決定数331件、交付決定額は44,843千円となっております。

市営住宅宮前町団地建設工事については、4階（最上階）に一部着手しており、1月末の進捗率は35%と順調に進捗しております。

<建設課関係>

道路工事関係については、道路維持工事1件（大野岱桂瀬線）が完成、排水維持工事4件（下町3号線、川向米内沢小学校線、幸屋線、坊沢公民館線）が完成、道路新設改良工事1件（長坂線）を発注、道路新設改良工事1件（昭和～合地線）が完成、歩行空間整備工事1件（米代町線）が完成しております。

河川工事関係については、河川維持工事4件（門ヶ沢川、雪田沢川、田沢川、小摩当川）を発注、河川維持工事1件（門ヶ沢川）が完成しております。

災害復旧事業については、道路災害復旧工事2件（摩当沢線、西根田大内沢線）を発注、河川災害復旧単独工事1件（馬屋沢川）を発注しております。

<上下水道課関係>

上水道事業については、東中岱地区配水管布設工事が完成しております。

簡易水道事業については、小猿部第3配水池流量計更新工事、阿仁合簡易水道水源地管理用道路補修工事、東地区簡易水道第2取水場テレメータ更新工事3件が完成しております。

公共下水道事業については、鷹巣処理区において、綴子字佐戸岱地内で舗装復旧工事が完成し、脇神字米ノ岱地内で面整備工事及び脇神字赤川岱地内でマンホールポンプ設置工事を発注しております。

消 防 本 部

<常備消防関係>

平成26年11月20日から平成27年2月13日までの火災については、建物火災が5件発生しており、1月に入ってから建物火災が連続して発生し、負傷者が5人発生しました。

救急出動件数は383件で、種別では急病284件、一般負傷38件、交通事故24件となっております。ドクターヘリは12件の出動要請をしており、8人の患者を搬送しております。救助出動は15件で、そのうち2人を救出しております。

救命講習については22回実施しており、518人が受講しております。

職員研修については1月7日から秋田県消防学校救急科に4名の職員が入校し、救急現場で必要とされる知識と技術の習得に努めており、救急体制の強化を図っております。

12月になって降雪が例年より早い時期から続き、県内で雪下ろし作業等に関する事故が多発するようになりました。事故防止のため1月10日から注意情報を放送するとともに、作業中の人に声かけ運動と安全指導を行いました。雪下ろし講習会は11月21日に福祉の雪事業登録者に対して行い、1月31日には北秋田地域振興局主催の雪対策セミナーにおいて実技指導を行い、2月15日には前野自治会でも行う等、屋根の雪下ろし時の転落防止や落雪による災害防止に努めております。

各種訓練については、1月26日の文化財防火デーを前に、1月25日には「七日市の長岐邸」の防災訓練をはじめとして米内沢、阿仁合、鎌沢の各地区で地域住民と一体になった訓練を実施し、防災意識の高揚と文化財愛護思想が高められております。また、1月26日には雪山の事故を想定した救助訓練を米内沢スキー場で実施し、不明者の捜索や負傷者の搬送方法を確認するとともに、2月9日・10日には鷹巣橋下流の米代川にて冬季間の水難事故を想定した救助訓練を実施しております。

〈非常備消防関係〉

1月4日、市役所本庁舎から文化会館まで分団ごとに分列行進を実施し、北都銀行前では市長、団長、消防長の観閲をうけ、市民に堂々とした歩みを見せて地域防災を担う心意気を示しました。行進後文化会館において北秋田市消防出初式を行い、功績のあった消防団員や永年勤続の消防団員の表彰を行うとともに、今年一年の無火災を願い消防人としての決意を新たにしました。

2月22日には秋田県消防協会大館北秋田支部主催の消防団員研修が北秋田市交流センターで行われ、中堅と初任に分かれて知識や技術の習得、規律の保持及び共同精神の涵養がおおいに図られました。

教育委員会

〈総務課関係〉

合川小学校建設事業は12月16日に校舎の完成検査を行い、12月19日に引き渡しを受けました。2月23日からは備品の搬入を行っております。また、現在整備中の外構工事と駐車場整備工事は3月20日までに完成予定であります。小学校の春期休業中に引っ越し作業を行い、3月27日の離任式の際は統合学校給食センターのトレーニングの一環として新校舎に於いて、全児童で給食をいただく予定です。

森吉地区へ建設中の統合学校給食センターは3月9日完成検査を行う予定になっており、その後旧給食センターからの引っ越し、調理員のトレーニング等を行い、3月27日には給食提供校

8校の全児童生徒で試食を行います。なお、今定例会へ給食センター関連の条例改正案を上程しておりますのでよろしくお願い致します。

あきたリフレッシュ学園は1月19日から3学期が始まっており、1月は9名の生徒が延べ81日間利用しております。通園している子供達は、様々な理由で学校へ登校できなくなった訳ですが、学園に於いては、それぞれ自らの目標達成に向けて元気に頑張っております。

<学校教育課関係>

12月14日に山口市で行われた全国中学生駅伝競走大会に、鷹巣中学校の女子チームが参加し9位と健闘しました。

1月9日には、市教育センター所員発表会が開催され、これまでの教育実践等についての発表があり、所員が研修を深めました。同日に行われた教育講演会では、文科省調査官の長田先生に講演をいただき、キャリア教育について研修を深めました。

1月から2月にかけて全県・東北・全国スキー大会が行われました。全県大会では男子リレーで合川中が優勝、女子リレーで森吉中が2位。ノルディック種目個人では、合川中土濃塚悠成くんが、東北大会優勝、全国大会2位を果たすなど大活躍しました。

鷹巣西小学校統合についての保護者・地域住民への説明会が、10月から2月までの間に3回開催されました。

<生涯学習課関係>

生涯学習の推進については、11月29日に第4回「ふるさとの未来・再考！フォーラム」を、文部科学省初等中等局参事官の出口寿久氏をお招きし、「北秋田市を好きになる子供を育てることが地域を救う～学校を核とした地方創生～」と題して基調講演を行い、フォーラムでは、能代市立鶴形小学校児童が「鶴の恩返し隊出動！～持続可能な地域づくりに向けて～」、合川中学校生徒が「北秋田発！合川まとも火交流プロジェクト2014」、秋田北鷹高校家庭クラブが「北秋田発！高校生双方向交流（相可高校）～プロジェクト2014」、秋田大学が「ARCグループ活動2014」を発表し、地域の絆やコミュニティの再生を探りました。

また、高齢者大学「合同講座」が12月5日に開催され、元県職員の佐藤貞勝氏のユーモアたっぷりの講演を聴きながら、命の尊さについて学びました。

公民館講座など生涯学習に励んでいる人たちや、地域で社会参加の活動を行っている個人団体の方々が一堂に会した「生涯学習フェスタ」が、12月20日に中央公民館で開催され、各種団体によるステージ発表や展示・体験コーナーなど多彩なプログラムを楽しむと共に、交流を深め学びの輪を広げました。

「冬の笑楽校」は、さまざまな講座などを組み合わせ、子どもたちが一日を楽しく学べる講座として1月10日に開催され、地域の人材を講師にお願いし、学校とはまた違った学習を体験しました。

「高校生書道パフォーマンス×書き初めのつどい」が1月31日に開催され、幼児から高齢者までの市民が書き初めに挑戦したほか、高校生書道パフォーマンスには地元秋田北鷹高校をはじめ、大館鳳鳴高校、能代松陽高校に、昨年、書道パフォーマンス甲子園に出場した大曲高校の4校の書道部が参加し、音楽に合わせて迫力たっぷりに筆を走らせるパフォーマンスで、集まった観衆を魅了しました。

「“Gちゃん”サミット in 北秋田市パート2～アンコール編～」を2月14日に開催し、基調講演やシンポジウムなどを通して、元気な高齢者の地域貢献活動について学びました。

文化財の保護について、1月26日の「文化財防火デー」を前に、市内4地区で1月25日に火災想定訓練が行われました。今年重点地区としていた、市指定有形文化財「七日市の長岐邸」では、後世へ引き継ぐ貴重な文化財を火災や震災から守るため、七日市地区住民や消防署員、消防団など約90人による通報・初期消火訓練や放水訓練等が行われました。

読書活動の推進として、2月28日北秋田市読書感想文感想画コンクールの表彰式が、合川農業環境改善センターを会場に行われ、特選11点、入選34点を表彰しました。今年度は応募作品も増え、読書感想文では210点、前年より45点増。感想画では573点、58点増となっております。

<スポーツ振興課関係>

市営薬師山スキー場開きが12月18日に行われ、関係各位により今シーズンの安全を祈願しました。

第27回森吉山スキー大会及び第67回大館・北秋田中学校スキー大会クロスカントリー競技が、12月28日に高津森クロスカントリーコースで開催され、88名の選手が大勢の声援を受け力走しました。

第8回北秋田市民スキー大会が1月25日に市営薬師山スキー場で開催され、5歳から83歳までの世代を超えた183名の選手が参加し、転んでも最後まで諦めずゴールする姿は、多くの市民に感動を与えました。

2月1日、第67回大館・北秋田中学校スキー大会及び第60回北秋田学童スキー大会のアルペン競技が森吉山阿仁スキー場で、北秋田学童スキー大会のクロスカントリー競技が空港ふれあい緑地広場で開催され、両会場合わせて137名の選手が家族らの声援を受け熱戦を繰り広げました。

阿仁スポーツクラブ設立総会が2月6日に開催され、クラブの理念、規約、役員、事業計画等が承認されました。阿仁スポーツクラブが今後も、地域づくり、まちづくりの核として地域に根ざし、地域の生涯スポーツ振興について中心的な役割を担えるよう支援してまいります。